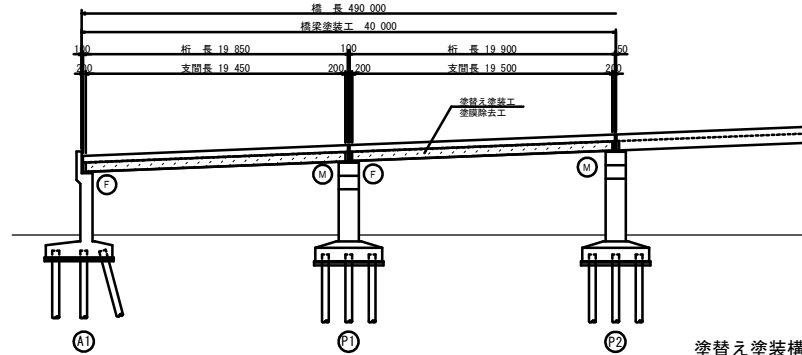


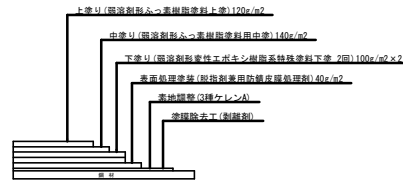
塗装工一般図

側面図 S=1/200



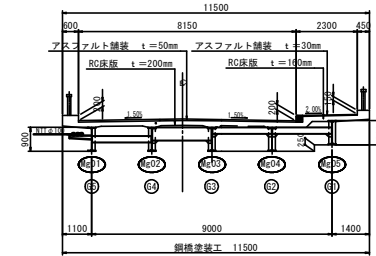
01=0.00

塗替え塗装構成図



上部工標準断面図 S=1/100

単純合成H桁部

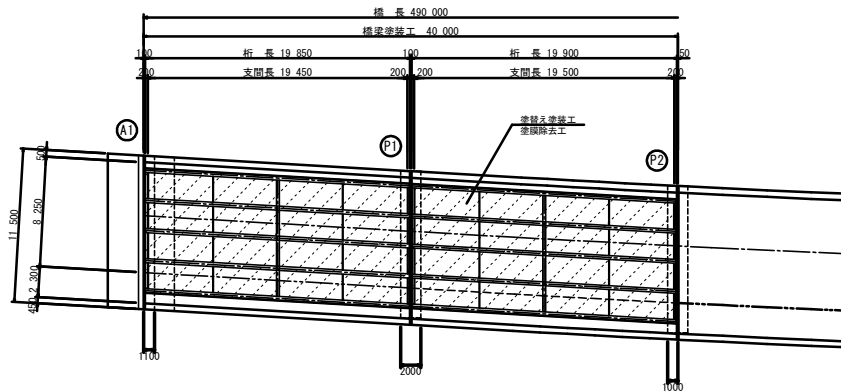


塗装仕様

工種・項目	塗料一般名	厚膜 (μ/m)	使用量 (g/m ²)	塗装 期間
素地調整	塗膜除去工+3種ケレンA			
表面処理塗装	脱指剤専用防錆皮膜処理剤	—	40	5分~24時間
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗り	60	100	1日~10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗り	60	100	1日~10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗り	30	140	1日~10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り	25	120	1日~10日

- ※1. 塗装はアースコートシステム同等以上とする。
- ※2. 鋼桁（主桁、横桁）等の撤去した塗膜の処理はPCB、鉛を考慮する。
- ※3. 上記の使用量は標準使用量であり、材料ロスを含まない。
- ※4. 剥離剤の使用量、塗布回数は、0.535kg/m²×2回の施工を想定しているが、必ず試験施工を行い、使用量、塗布回数を決定すること。
- ※5. 施工環境下における温度に留意し、塗布から剥離作業までの養生時間の調整を行うこと。
- ※6. 塗布剥離剤の選定は、塗替え塗装材料に影響が少ないものを選定すること。
- ※7. 塗布剥離剤で塗膜除去後に動力工具等で素地調整を行うこと。
既設塗膜には、PCB・鉛を含むため、動力工具を使用する場合は、特に吸引防止に注意すること。
（吸塵タイプディスクサンダー等を使用のこと）
- ※8. 防食下地の無機ジंकペースト、無機ジंकプライマーは塗膜剥離剤で除去出来ないため、軟化した塗膜を除去したのち、防食下地の健全性を確認し、異常があると判断された部分については、確実に除去するものとする。

平面図 S=1/200



塗替え塗装工数量表

名称	規格	単位	数量	備考
塗膜除去工	剥離剤	m ²	650	3回塗布
素地調整	3種ケレンA	m ²	650	
表面処理塗装	脱指剤専用防錆皮膜処理剤	m ²	190	
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗り	m ²	650	
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂系特殊塗料下塗り	m ²	650	
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗り	m ²	650	
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り	m ²	650	

この図面は縮小図面です。

事業名	港湾施設整備事業（改修）		
工事名	改修（統合）響灘大橋塗替え塗装工事(5)		
図面名	塗装工一般図		
縮尺	図示	図面番号	4葉之内 3
設計年月	令和 5年 9月		
北九州市港湾空港局			

竣工図